

## 令和4年度第8回医学系研究倫理審査委員会議事要旨

I 日 時 令和4年12月19日（月） 15:00～16:10

II 場 所 Web開催

III 出席者 稲谷委員長、小林委員、青木委員、重見委員、酒巻委員、森岡委員、井川委員、波崎委員、岩佐委員、西村委員、後藤委員、五十嵐委員、喜多山委員（松岡C研究推進課長）、大谷委員（医療サービス課課長）、木元委員（福井県立大学）、草桶委員、高嶋委員

欠席者 長谷川委員

事務局側（松岡C研究推進課）吉田主査、坂井主査、山田主任、山本事務補佐員（医学研究支援センター）久津見特命教授、渡邊講師

## IV 議 題

### 1 前回議事要旨の確認

11月21日に開催した令和4年度第7回倫理審査委員会の議事要旨（案）が承認された。

### 2 審 議 事 項

#### (1) 「視覚・生理・心理的メカニズムに基づく不快グレア評価モデルの構築」

工学研究科 明石先生から、資料に基づき説明があり、審議の結果、以下の理由により継続審査（迅速審査）とした。

- ・研究目的で散瞳することは「侵襲あり」に該当するため、計画書を修正する必要がある。

#### (2) 「簡易生体計測装置を用いた作業状態モニタリングに関する研究」

高エネルギー医学研究センター 近藤先生から、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認した。

#### (3) 「親族以外の第三者からの腎移植について」

腎臓内科 糟野先生から、資料に基づき次の説明があり、実施に必要な書類が準備されており、日本移植学会の指針に定められている有償提供の回避策と任意性の担保等については、ドナーから第三者（精神科医師）が「ドナーにおける金銭授受回避、自由意志の確認書」に同意を得ていることから、審議の結果、承認した。

なお、日本移植学会に提出する書類が整い次第、委員長が確認することとした。

- ・日本における臓器移植は、親族からの臓器提供が原則であり、第三者からの提供の場合は、各実施機関（病院）等での倫理審査の承認を経て、日本移植学会倫理委員会の最終承認を得なければ実施できない。

### 3 報 告 事 項

#### (1) 迅速審査結果について

事務局から、資料に基づき、令和4年10月25日～12月8日に実施された迅速審査26件が承認された旨の報告があった。

#### (2) 終了（中止）報告書について

事務局から、資料に基づき、終了3件、中止2件について報告があった。

#### (3) 医学部以外の教員及び学生の電子カルテ閲覧に係る誓約書について

稲谷委員長から、資料に基づき、臨床研究の際に電子カルテ利用者以外の教員及び学生がカルテを閲覧したいとの申し出があったため、「電子カルテ利用者以外の教職員用」と「医学部臨床実習以外の学生用」の誓約書を作成した旨の報告があった。今後、該当者は誓約書の提出を義務付けることとした。

### 4 そ の 他

#### ・ 研究対象者募集方法に係る計画書雛形追記について

稲谷委員長から、資料に基づき、前向き研究で同意を得る場合で不特定多数の募集を実施する際は、「計画書9 インフォームドコンセント」に例文のとおり記載し、実物（チラシや文書）を添付することとするため、審査の際は、ここに記載があれば添付資料にて中身を確認するよう依頼があった。

次回開催予定日 : 令和5年1月23日（月） 15:00～16:00